

じゅくろう

光寿無量

旧年中は大変お世話になりました。
 できなかったことも多くありましたが、新
 しく始められたこともありました。できるこ
 とを精一杯努めていきたいと思っております。
 本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

吉富山浄覚寺 寺族一同



第33号
(通算373号)

発行元
 浄土真宗本願寺派
 吉富山 浄覚寺
 大阪市平野区
 長吉長原3-1-10
 06-6790-8350

第21回 浄覚寺いじりかみをのびく

昨年十二月十九日(日)
 「浄覚寺こども会 冬のつ
 どい」を開催しました。恒
 例のお餅つきは自粛をしま
 したが、おつとめ・仏さま
 のお話の後は制作やゲーム
 で楽しみました。
 今年の制作は「消しゴム
 はんこ」作りです。裏面に
 連載している『気になる仏
 教語辞典』の著者でもある
 麻田氏は住職の友人ですが、
 消しゴムはんこの作家でも
 あります。彼のワークショッ
 プに参加した時から気になっ
 ておりました。ですが、幼
 稚園児や小学校低学年が多
 数を占めるこども会です。
 カッターナイフや彫刻刀で
 彫っていくため躊躇してい



たところ「刃物を使わない
 消しゴムスタンプ」なる物
 を見つけ、ようやく実現す
 ることができました。
 小さな子たちには少し難
 しかったかもしれませんが、
 インクを付けて押してみた
 らなかなかの出来映え。喜
 んでもらえてよかったです。
 短い時間でしたが、子供
 たちの楽しそうな笑顔を見
 ると無事に開催できたこと、
 またこども会の大切さを強
 く感じることができました。

浄覚寺ヨガ教室

- ・1月19日(水)
10時~11時半
- ・参加費500円
- ・浄覚寺本堂にて

☆ヨガマットは貸し出しもありますので、どなたでもご参加いただけます。

われにまかせよ
 そのまま救うと
 弥陀のよび声
 南無阿弥陀仏の
 はんこを押せば
 このままで
 救い取られる
 仏恩報謝のお念仏



御文章に聞く(第29回)

参考文献：『御文章 ひらがな版を読む』 天岸淨園著 本願寺出版社

今回も御文章(蓮如上人からのお手紙)を味わっていきたいと思います。蓮如上人は他力の信心をいただくことは、第十八願の内容を聞かせていただくことだとあらわされました。

『仏説無量寿経』に阿弥陀仏は二修行中に法蔵菩薩と名のられて、四十八の願を建てられたと説かれています。

信心獲得章(五帖第五通)

信心獲得すというは第十八願をこころうるなり、この願をこころうるといふは南無阿彌陀仏のすがたをこころうるなり、このゆえに南無と帰命する一念の処に発願回向のこころあるべし、これすなわち弥陀如来の凡夫に回向しますすことなり、これを大経には令諸衆生功德成就と説けり、

その十八番目の願ですから第十八願とよばれています。そこには「たとひわれ仏を得たらんに、十方の衆生、至心信樂してわが国に生ぜん」と欲ひて、乃至十念せん。もし生ぜずは、正覺を取らじ。ただ五逆と誹謗正法とをば除くと、誓われています。現代の言葉に直すと「私は修行中の身であるが、やがて仏に成るときには、このようなくいを実行できる仏になりたい。生きとし生けるすべての人びとが、どのような人であつても、心から疑いなく私の願いを受け入れて、私の国に生まれるとおもつて、たとえ十遍でも私の名を称えてくれるならば、必ず往生をせしめるであろう。もしそれが不可能ならば、私は決して成仏しません。ただし、真実の愛に背く五逆の者と正しい教えを誇るものは除く」という意味です。

仏教語辞典



明徳五年(一三九四年)〜文明十三年(一四八一年)。室町時代の臨済宗の僧侶。アニメ「一休さん」のモデルとして知られている。本物の一休さんも奇抜な行動をとり、様々な逸話や言葉を残している。

一休宗純

『気になる仏教語辞典』
著・麻田弘潤 誠文堂新光社
仏教にまつわる用語をイラストとわかりやすい言葉で読み解かれています。ぜひお買い求めください。

編集後記

今月も「じゅこつ」をお届け致します。十二月十五日、今年最後のヨガ教室がありました。最後の挨拶で話しましたが、この一年も新型コロナウイルスに振り回されました。できなかったことも多かったです。唯一新しいことを始められたのがヨガ教室です。できないからと何かとネガティブに考えがちですが、できることを一杯させていただくことで良いのではないのでしょうか。

今年もお世話になり有難うございました。今年後とも変わらぬお付き合いをお願いします。(釋法道)

2月

第三回 仏教文化講演会

日時・二月十三日(日) 十四時より

講師・川端浩明先生
(ファイナンシャルプランナー)

テーマ・知って得する「税」の話

日時・令和四年一月一日(祝) 十四時より

行事・元旦会

場所・長原浄覚寺

法話・寺西覚水先生(節談説教)

節談説教・節のついた法話をお聴聞させていただきます

(なお、一月の月参りは六日から伺います)

行事案内

